

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道355号 <small>かさま</small> 笠間バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	いばらきけん 茨城県																								
起終点	自： <small>かさま</small> 茨城県笠間市手越 至： <small>かさま</small> 茨城県笠間市石井	延長	5.2 km																										
事業概要																													
<p>一般国道355号は、千葉県佐原市を起点として茨城県笠間市に至る延長約9.3 kmの主要幹線道路である。 <small>かさま</small> 笠間バイパスは、<small>かさま</small> 笠間市街地の幅員狭小区間の解消ならびに交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を目的とした延長約5.2 kmの2車線道路である。</p>																													
H 2年度事業化	H 2年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 3年度用地着手	H 5年度工事着手																										
全体事業費	6.4 億円	事業進捗率	6.5 %	供用済延長	1.1 km																								
計画交通量	9,200台/日																												
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B / C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">5.8</td> <td></td> </tr> </table>	B / C	(事業全体)	1.9	(残事業)	5.8		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.5 / 7.4 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費：20/69 億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費：5/5 億円)</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	2.5 / 7.4 億円		(事業費：20/69 億円)		(維持管理費：5/5 億円)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.44 / 1.44 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：126/126 億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益：18/18 億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益：0/0 億円)</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	1.44 / 1.44 億円		(走行時間短縮便益：126/126 億円)		(走行費用減少便益：18/18 億円)		(交通事故減少便益：0/0 億円)		基準年	平成16年
B / C	(事業全体)	1.9																											
(残事業)	5.8																												
総費用	(残事業)/(事業全体)																												
2.5 / 7.4 億円																													
(事業費：20/69 億円)																													
(維持管理費：5/5 億円)																													
総便益	(残事業)/(事業全体)																												
1.44 / 1.44 億円																													
(走行時間短縮便益：126/126 億円)																													
(走行費用減少便益：18/18 億円)																													
(交通事故減少便益：0/0 億円)																													
事業の効果等																													
<ul style="list-style-type: none"> ・個性ある地域の形成（笠間稲荷神社、笠間焼き窯元へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（対象区間が「茨城県地域防災計画」において第一次緊急輸送道路に指定） 他 5項目に該当（定量的評価項目を含む） 																													
関係する地方公共団体等の意見																													
本路線は、地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、岩間町をはじめとする関係2市4町の首長で構成される国道355号石岡笠間改良促進期成同盟会が整備促進の要望（平成16年11月26日）を行っている。																													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																													
平成12年12月に北関東自動車道 友部インターチェンジが開通し、そのアクセス道路としての役割が高まっている。																													
事業の進捗状況、残事業の内容等																													
用地難航箇所が散在し、工事の着手が遅れているが、現在までに約1.1 kmを部分供用している。																													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																													
平成17年度に新たに0.7 kmの部分供用を予定しているほか、残りの用地取得を平成18年度までに完了させ、早期完成を目指して工事の進捗を図る。																													
施設の構造や工法の変更等																													
二次製品の大型化や再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。																													
対応方針																													
対応方針決定の理由																													
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																													
事業概要図																													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。